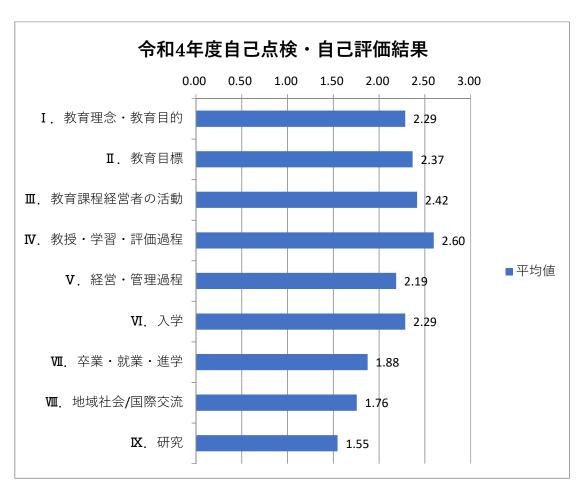
学校自己点検•自己評価

I. 教育理念·教育目的	2.29
Ⅱ. 教育目標	2.37
Ⅲ. 教育課程経営者の活動	2.42
Ⅳ. 教授·学習·評価過程	2.60
V. 経営·管理過程	2.19
VI. 入学	2.29
VII. 卒業·就業·進学	1.88
Ⅷ. 地域社会/国際交流	1.76
IX. 研究	1.55



令和4年度 学校自己点検·自己評価

I	教育理的	教育理念・教育目的を学生たちにわかるように明示する必要がある
П	目教 標育	教育目標と教育内容に整合性があるかを検証していく必要がある
Ш	教育課程経営者の活動	教育理念・教育目的の達成に向けての取り組みを明確にしていく必要がある 新カリキュラムの教育内容について検討をしていく必要がある 今後も高等課程との連携を図っていく必要がある 教員の自己研鑽に努めていき、教育活動に役立てる必要がある
IV	評価過程 教授・学習	特に看護技術の授業内容の整合性などを常に検討して授業する必要がある外部講師への講義アンケートの公表を検討する必要がある
V	経営・管理過程	学生数減少のため学生確保の努力する必要がある ネットワーク環境は整っている 地域に向けての情報発信をもっとする必要がある
VI	入 学	入学選抜は問題ない 推薦入学試験を導入しているため、学生確保につながるのではないかと考えます
VII	進就卒 学業業	卒業後の動向調査が必要がある
VIII	国域 際 交流 流	地域とのふれあいができることを増やしていけばいいのではないか
IX	研 究	教育研究をする時間や予算確保をする必要がある